

平成30年度寄附（企業版ふるさと納税）による青森県のまち・ひと・しごと創生の主な取組

①世界遺産「白神山地」保全と活用推進プロジェクト

■白神山地の認知度及び魅力の向上と、白神山地を次世代につなぐ人材育成を目的としたプロジェクトです。
【平成29～31（2019）年度】

【白神岳登山道（二股コース）の再整備】

平成26年8月の大雨により歩道の一部が崩落した二股コースの迂回ルートの新設しました。
（2019年9月共用開始予定）



崩落した歩道斜面



二股コースに新設した迂回ルート（木製階段工）

平成30年の白神岳の
入山者数：1,402人

⇒2019年度は、新たに崩落危険箇所が見つかった十二湖コースの迂回ルートを整備します。

【次世代に伝えたい白神山地の魅力フォーラムの開催】

世界遺産登録25周年を記念し、高校生や大学生などの若い世代を対象に、白神山地を未来につなぐために何が出来るかを考えるフォーラムを開催しました。
（参加人数：約180人）



パネルディスカッション「白神の今、そして未来」

【自然愛好家による白神山地自然体験・地域交流】

冒険家の南谷真鈴さん（7大陸最高峰と両極点到達の世界最年少記録保持者）をお招きし、ブナコ製作や十二湖スノーハイクなどの現地プログラムを体験いただき、地元ガイド団体等と意見交換を行いました。
（参加人数：約10人）

⇒2019年度は、雑誌社とのタイアップによる白神山地の価値や魅力の情報発信などに取り組みます。

②十和田湖・奥入瀬・八甲田魅力「深」発見プロジェクト

■奥入瀬エコツーリズム（※）を推進するための新たな交通システムの構築と、十和田湖周辺の観光再生を目的としたプロジェクトです。
【平成29～31（2019）年度】

【交通システムを含む観光ビジネスモデルの構築支援】

交通と観光を組み合わせたビジネスモデルの構築に向けて、交通システムを運営するためのITツールや組織体制等の検討を行いました。

【代替交通とモデルツアーの運営実験】

快適性と楽しさを提供する代替交通（ランドカー、電気バス、サイクルシェア）の実証と、シャトルバスでの移動と散策を組み合わせたモデルツアー「ネイチャーガイドバス」を奥入瀬溪流のマイカー交通規制期間（10月25日～28日）に実施しました。



ランドカー



電気バス



サイクルシェア



ネイチャーガイドバス

平成29年の奥入瀬・十和田湖
地区の観光入込者数：118.7万人

⇒2019年度は、新たな交通システムのプラットフォームとなるITツールの作成や、民間移行を見据えたビジネスモデルの確立に向けて、引き続き取組を進めていきます。

このほか、インバウンド向けに、食と自然を組み合わせた滞在型観光モデルの構築に取り組む予定です。

（※）奥入瀬エコツーリズムについては、こちらのHPでご覧いただけます。 <http://www.eco-oirase.com/ja>

③あおもりUIターン雇用支援プロジェクト

■地方への人財の還流、若者の県内定着の促進を目的としたプロジェクトです。【平成29・30年度】

【県内のインターンシップ等に参加するための交通費助成】

UIターン就職しやすい環境づくりの一環として、首都圏等からの距離的不利の克服を目的とした交通費助成を実施しました。

支給決定者数は、平成31年3月31日現在、80人です。

うち16人がUIターン就職につながっています。（県把握分）



土木系女子学生による
県内建設系企業への
インターンシップ
（測量実習）

④AOMORIのお宝コンテンツ魅力発信プロジェクト

■郷土の歴史、文化に対する県民の理解と愛着を深め、地元志向の若者や地域の魅力を発信できる人材の育成を目的としたプロジェクトです。
【平成29・30年度】

【青森県史デジタルアーカイブシステムの構築】

県民が手軽に青森県史資料を検索・閲覧できるシステムを整備し、インターネット上に公開しました。
<https://www2.i-repository.net/contents/kenshi-front/>

【高校生による地域の文化財調査研究・発表会】

高校生が地元の寺社や門などの調査研究を行い、その魅力についてワークショップや発表会を開催し、ふるさとへの理解を深めました。

⑤あおもり短角牛再生緊急プロジェクト

■あおもり短角牛の増頭と低コスト生産技術を確立することで、生産農家の所得向上をめざすプロジェクトです。【平成29・30年度】

【繁殖雌牛の増頭対策】

肉用子牛の出荷頭数を増やすためには、まず繁殖雌牛を増やす必要があるため、此敏雄判別技術を用いて「雌の受精卵」をつくり、繁殖を実施しました。

（平成30年度は8頭に移植を実施）